

全国学力学習状況調査の結果について

4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果についてお知らせします。この調査は、毎年全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施し、児童・生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的としています。また、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、全教員で結果の分析と考察を行いました。成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、今後さらに取組を充実させていきたいと考えています。

中学校では、国語・数学の2教科を毎年実施し、理科・英語を3年に1度程度で実施します。今年度は、教科に関する調査は国語と数学と英語の3教科を実施しました。

<全国平均と比べた今年度の本校平均正答率>

国語：全国と比べて上回っている	数学：全国と比べて上回っている	英語：全国と比べて上回っている
-----------------	-----------------	-----------------

【国語】どの項目においても概ね全国に比べて正答率は高く、これまでの取組が成果として現れています。全国的な傾向と同じく、ある表現と同じ意味をもつ表現を本文から抜き出す問題や漢字の書き取りに課題が残ります。このことは「本や新聞を読むこと」が全国に比べて低いことから、そこから学ぶ語彙や表現方法等に触れる機会が少ないことも影響していると考えます。また、タブレット等の活用により、検索された内容から、漢字の意味や使い方を正しく判断し使用することは身につけているものの、正しく適切な漢字を自分で書く問題においては課題が残ります。これは、現在の生徒だけでなくおとなにもある課題だと考えます。この現状を理解した上で、タブレット等を適切に活用することに加え、自分の手で書くこと（紙にたくさん書いて覚える等）も意識して行い、必要な力を身につけていく必要があります。

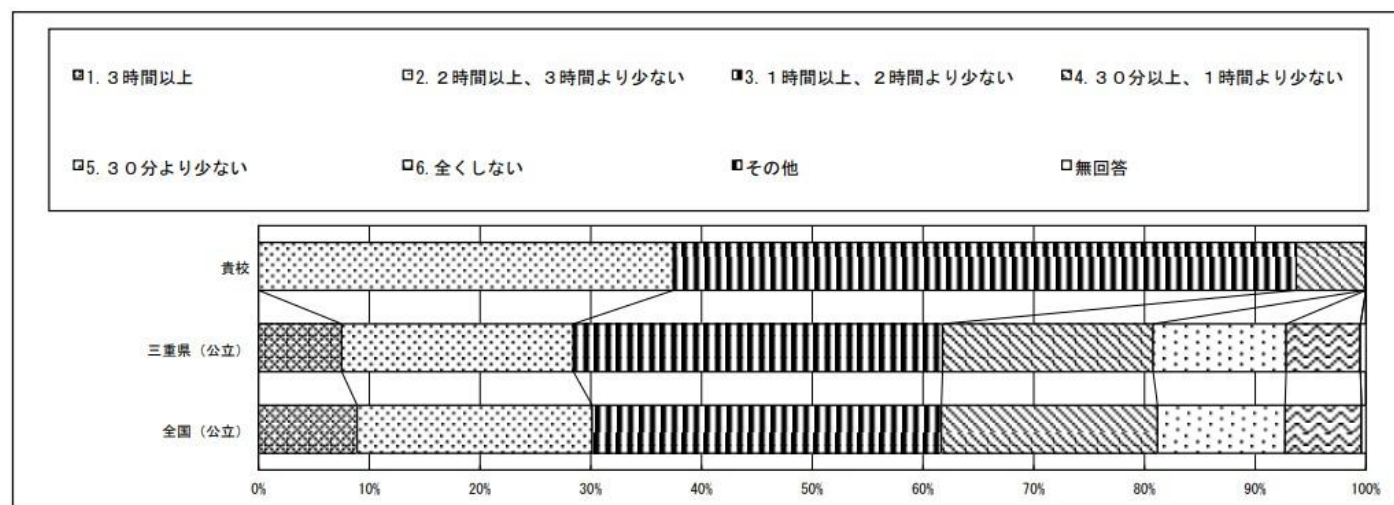
【数学】国語と同様に、ほとんどの項目において正答率は全国に比べて高い。全国的な傾向と同様、証明や説明問題等では少し課題が残るものの、本校の多くの生徒は力がついてきていると考えます。これまでの授業での取組だけでなく、プリント学習や自主学習等の取組の成果も出ていますと考えます。学んだことを活用するためには、学んだことを繰り返し学習をし、基礎基本となる知識や理解を身につけることが土台となります。今後も「わかる」から「できる」につなげられるような家庭学習を続けていくことが必要になると考えます。

【英語】ほとんどの項目において、全国と比べて同じ程度か又は上回る正答率である。特に条件に合った英文を書くことにおいてはほとんどの生徒ができています。しかし、「聞く」内容において、解答に必要な一文を聞き逃していることや、「読む・書く」内容においては、英文から一番伝えたいことを読み取る問題や、自分の考えた理由を英文で書く問題に課題が残ります。英語力も大切ですが、国語力ともリンクする場面で課題が残ります。

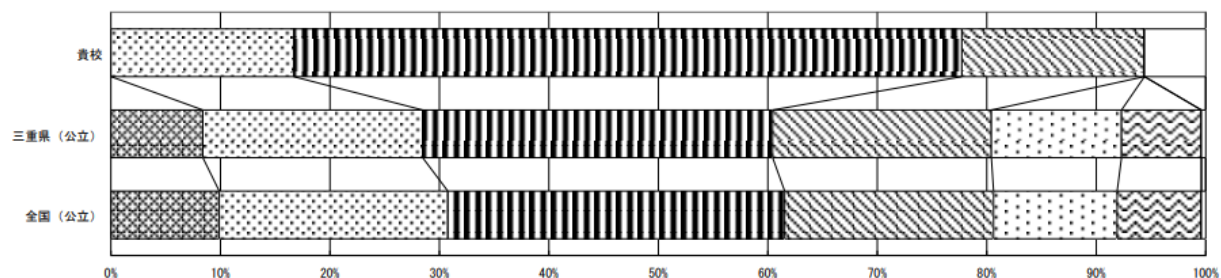
【家庭学習について】生徒質問紙調査結果より（次ページ参照）

家庭学習において、昨年度課題であった「平日、家庭学習を2時間以上している」という項目が改善されてきました。また休日においても同様で、一定、家庭学習には取り組むことができます。しかし、今回のたよりには掲載していませんが、1学期末に答えてもらった学校評価アンケートでは、「平日、家庭学習を2時間以上している」という項目は大きく減っています。3年生になり、4月当初は頑張っていたことが継続できていない課題もわかってきました。確かな学力をつけるためにも、じっくり時間をかけ、何度も繰り返し学習に取り組む、基礎基本の知識を身につけたり、処理できたりできるように取り組んでいきましょう。

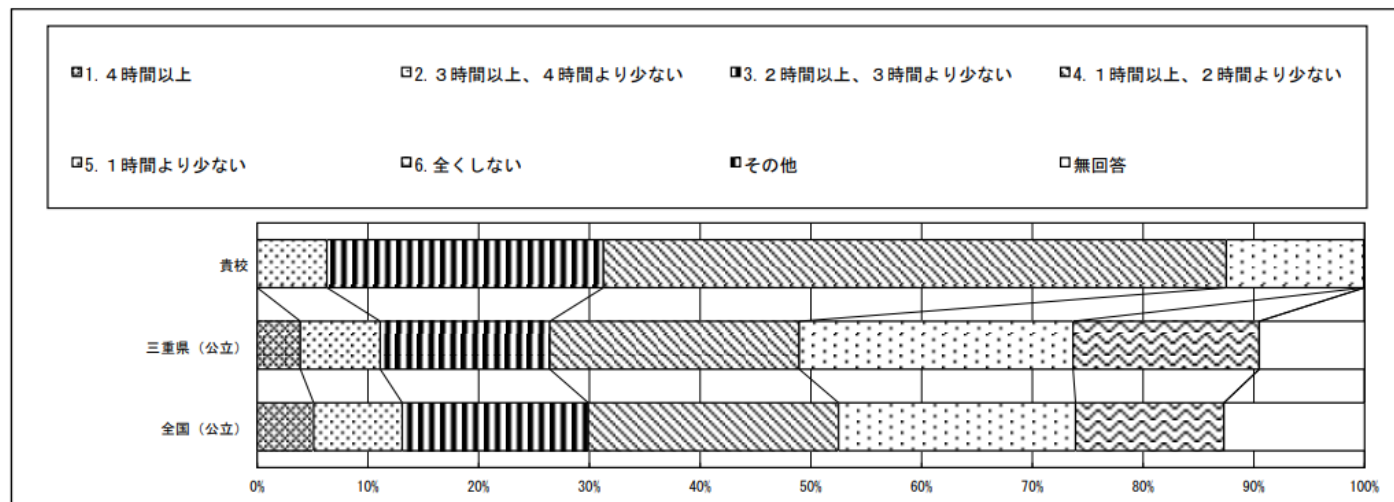
がっこう じゅぎょうじかん いがい ふだん げつようび きんようび にち じかん べんきょう がくしゅうじゅく
 ◎学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾
 で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
 ほんねんど
本年度



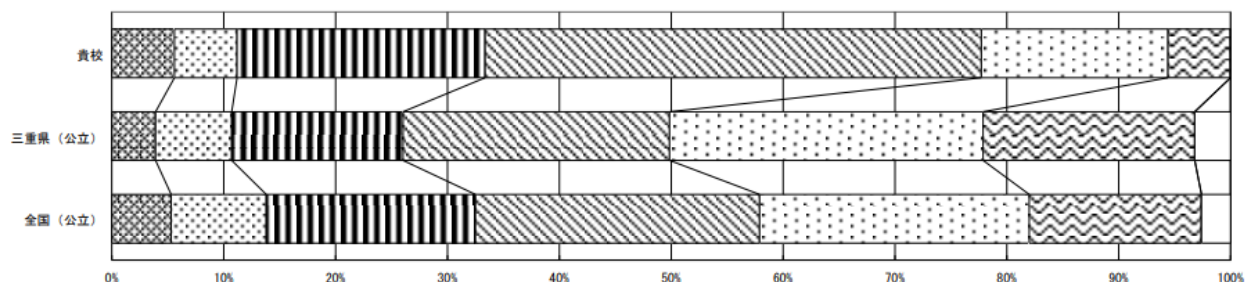
さくねんど
昨年度



どようび にちようび がっこう やす ひ にち じかん べんきょう がくしゅうじゅく べんきょう
 ◎土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強して
 いる時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
 ほんねんど
本年度



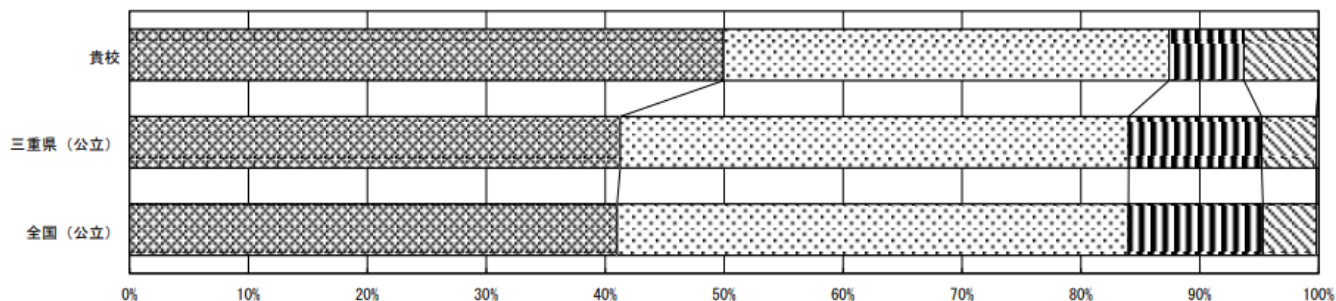
さくねんど
昨年度



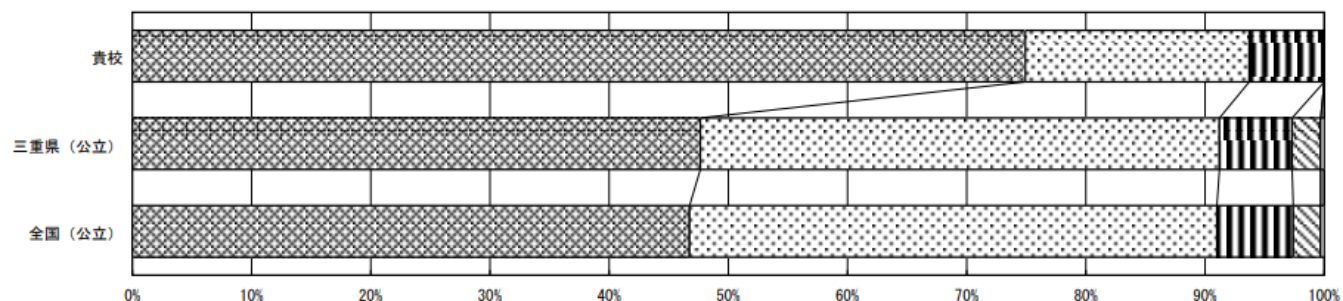
せいとしつもんし ちょうさけっか がっこうせいかつ かか ちょうさけっか いちれい
 生徒質問紙の調査結果より(学校生活に係る調査結果の一例)

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

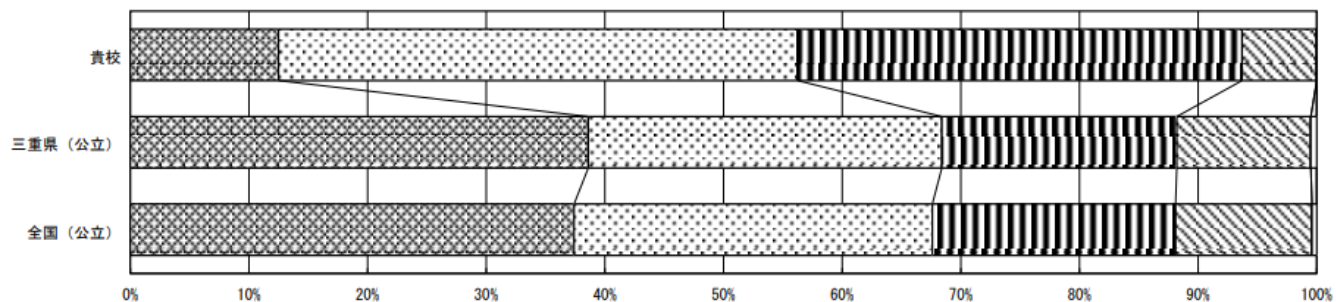
じぶん おも
 ○自分には、よいところがあると思いますか



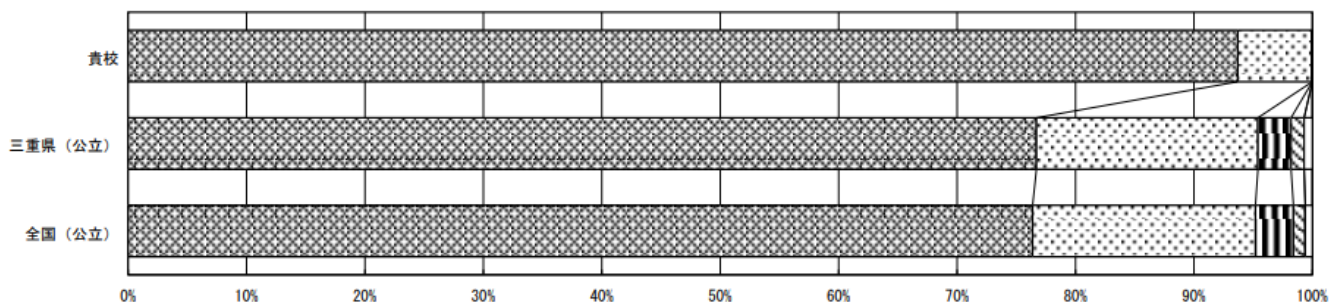
せんせい みと
 ○先生はあなたのよいところを認めていますか



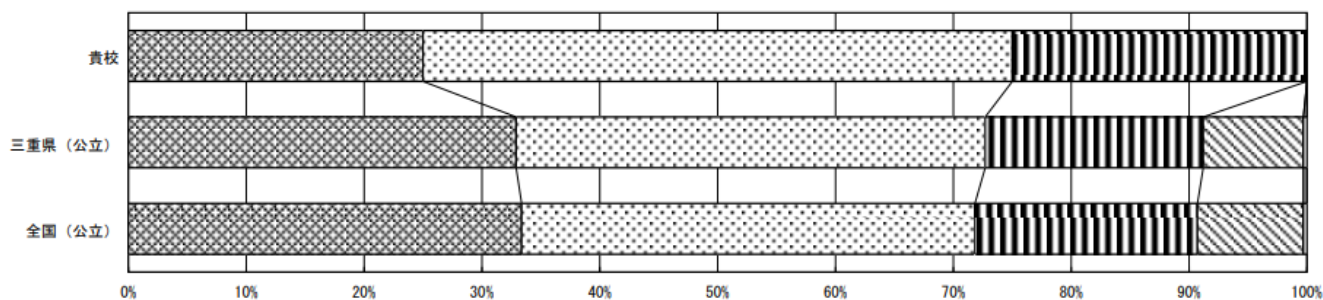
しょうらい ゆめ もくひょう も
 ○将来の夢や目標を持っていますか



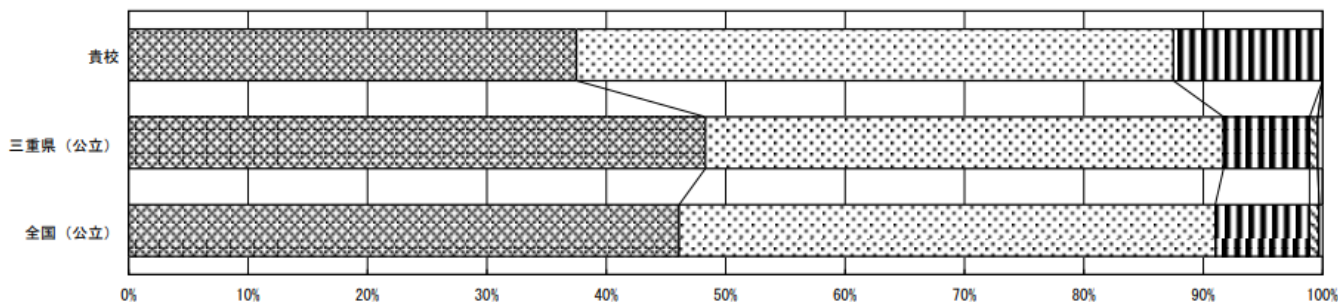
りゆう おも
 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



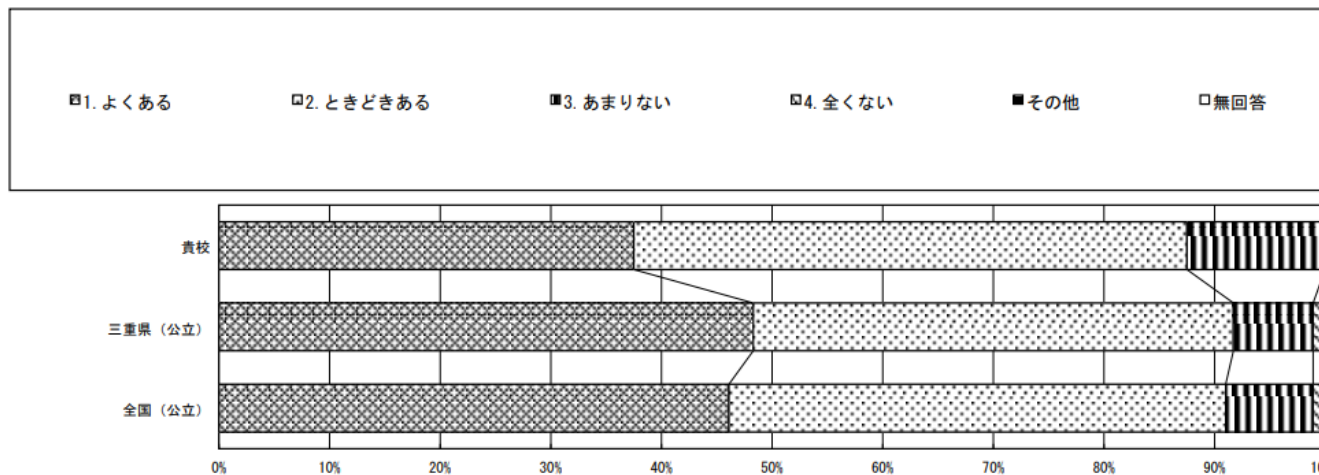
こま ふあん とき せんせい がっこう おとな そうだん
 ○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



がっこう い たの おも
○学校へ行くのは楽しいと思いますか



ふだん せいかつ なか しあわ き も
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



本校の場合、生徒数が少ないこともあり、一人あたりの占める割合が大きいので、回答結果の割合は多少ぶれてはしましますが、「自分には、よいところがあると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問事項についての回答は、全国を大きく上回っていました。日頃より柘植中学校が大切にしている“つづり方”や“一枚文集の取組”も含め、なかまづくりや学級集団づくりをベースとした人権（エンパワメントの力）の取組の成果であると考えます。

「先生はあなたのよいところを認めていますか」の質問項目では肯定的な回答が多い中、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問では、肯定的な意見は高いものの1と答えた生徒の割合が全国よりやや低い傾向があります。また、キャリア（キャリアデザインの力）的側面において、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問項目では、自分の将来について深く考 えていることもあるとは思いますが、自分にとっての夢や目標がまだまだはっきりしていない状況があるように思います。自分の夢や目標を持つことは、学力向上にも大きく影響してきます。今後、出会い学習や進路学習を通して、将来の自分を考 える機会を大切に、また、テストの結果を受けてや、進路・キャリア学習の内容とも重ねたキャリア教育相談等にもさらに取り組んでいきたいと思 います。また、「学校へ行くのは楽しいと思いますか」や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の項目が全国に比べ少し低い結果となっています。3年生になり、色々な不安や悩みも持ちながら過ごしていることだと思 います。教育相談やおとなとの関係はもちろんですが、なかまどうして支え合える関係づくりを今後も続けていきたいと考 えます。

つ げ ちゅうがっこう かだいこくふく む もくひょう
柘植中学校の課題克服に向けた目標！

へいじつ じかん いじょう きゅうじつ じかん いじょう かてい がくしゅう
「平日2時間以上、休日4時間以上家庭学習をする」

- 授業でわかったことを定着（「わかる」から「できる」へ）させるために、家庭学習で繰り返し学習をしよう
- 余暇の時間は、本や新聞など、活字に触れる時間を増やそう
- 自分の夢や目標を確かなものにしていくため、学校や家庭での多くの体験・経験を大切にしよう